

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	01	保健体育総務費
大事業	151	国体推進事業			中事業	01	国体推進事業		
小事業							他 事業		

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり		所管部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興			国体推進課
総合戦略	政策パッケージ	1	移住・定住の促進			
	施策	1-1	シティーセールスの強化			
事業区分	自治事務 (義務的なもの)		事業種別	ソフト事業		
根拠法令	有	スポーツ振興法、国民体育大会開催基準要項				
根拠例規	無					
関連計画・マニュアル	無					

2.事業の目的・概要

<p>【事業の目的】 平成30年開催の福井しあわせ元気国体に向け、機運醸成を図ると共に平成29年開催のブレ大会において全ての検証を行い、平成30年開催の本大会が円滑に運営できるよう実行委員会、専門委員会、部会等において協議し万全な体制に向けた準備を行う。</p> <p>【事業の概要】 ◆国体推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○賃金 (臨時職員賃金 3人) 7,001千円 ○需用費 (消耗品費) 10千円 ○役務費 (通信運搬費) 224千円 ○委託料 (コピー機保守点検委託料) 325千円 ○使用料及び賃借料 (パソコン賃借料) 498千円 ○負担金 100,000千円 <p>福井しあわせ元気国体坂井市実行委員会負担金</p> <p>総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会費 (総会、常任委員会専門委員会等経費) ・事務局費 (事務用品、ボランティア通信、被服費等) <p>開催準備費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業促進費 愛媛国体視察研修、ボランティア活動費等 ・広報啓発費 300日前等イベント費、花いっぱい等歓迎装飾費、広報関係費等 ・ブレ大会運営費 全国社会人サッカー、中部日本バレーボール、デモスポ3競技
--

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略記載事項	<ul style="list-style-type: none"> ■国民体育大会における情報発信
----------	---

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	101,057	27,490	9,869	73,567
	人件費	100,469	86,228	46,047	14,241
	総事業費	201,526	113,718	55,916	△ 57,802
人員	正職員	13.30 人	11.70 人	5.90 人	1.60 人
	臨時職員	4.00 人	3.00 人	2.00 人	1.00 人
	人員計	17.30 人	14.70 人	7.90 人	△ 6.80 人
財源内訳	国県支出金	19,460	0	0	19,460
	その他特定財源	0	0	0	0
	一般財源	182,066	113,718	55,916	68,348

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	2018年に行われる福井しあわせ元気国体・大会の成功を目指して準備事業の進捗状況	独自指標	目標		100	80	30	30
			実績			80	30	30
			達成率(%)	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0
指標の説明								
指標	市民総参加事業でもあるボランティア募集の登録数	独自指標	目標		900	600	300	
			実績			550	500	
			達成率(%)	0.0	0.0	91.7	166.7	0.0
指標の説明								
指標		独自指標	目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標		独自指標	目標					
			実績					
			達成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	<p>国体開催に向けた準備事業は順調に達成されている。ただし、盛り上がりと言った点においては、周囲の反応が薄い事は否めない。特にボランティアなど市民の協力においては尻すぼみ状態が予想される。</p>							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	平成30年の本大会に向け、平成29年は福井国体の坂井市開催競技プレ大会を開催し、競技運営、会場運営、役員の配置、動向など全ての点で検証を行った。これらの検証と反省を基に準備を進めている。課題としては職員の動員による通常の窓口業務などの影響を最小限に抑える事や、未だ関心の薄い市民に対し、会期までに盛り上がりを求めていくことが課題となる。		
これまでの見直しや改善等の実績	プレ大会の検証により、役員数を最小限に止める工夫が出来た。また、盛り上がりを求めるための啓発事業を平成30年度に集中するなど、効率の良い時期に効果的な事業を計画している。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		完了	中長期的な方向性	
目標年度	平成30年度		目標年度	
方向性の説明	平成30年度は福井国体の本大会でもあり、全国から大勢の来訪者が望める事から、円滑な競技運営はもとより、市民総参加による機運醸成、坂井市の魅力を全国に発信を図った事業を展開し、大会の成功と、事業効果の拡充を図る。 平成30年以降は、市民がスポーツに親しみ、坂井市の魅力を知った来訪者が観光や交流といったリピーターとなってくれる事を狙う。			

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ	1	移住・定住の促進	施策	1-1	シティーセールスの強化
	基本施策	4	全国規模の集客イベントの誘致			
実施事業名(小事業)	国体推進事業					
事業で得られたノウハウや気づき等	<p>平成29年度は福井国体のプレ大会として、サッカーでは全国社会人選手権大会、バレーボールでは中部日本6人制男女総合選手権大会を行い、全国から訪れる選手、役員、報道、視察員、観戦者に既存の観光パンフレット、特産品などを配布し、坂井市の魅力を来場者に発信した。</p> <p>また、競技会場ではふるまいコーナーや出店を通して食の魅力等を発信した。</p> <p>課題として、観光等を目的としていない事、複数日の滞在である事など、競技を行う事を目的とした来場者に坂井市の魅力（観光、食、文化、交流）について効果的に発信する方法を検討する必要がある、また、国体では食に関して生の食材を衛生上の問題から積極的に提供できないなどの問題もあることから、十分な魅力発信には書面や画像を活用してどのように伝えるかが課題となった。</p> <p>これらの検証をもとに、福井国体では数日滞在を考慮したATM設置場所、コインランドリーなどの設置場所など生活に必要な情報と、観光地、文化施設、飲食店などを網羅したガイドブックの配布を行い、同時にホームページを活用した情報発信で対応する事にした。</p> <p>また、市民の理解と協力のもと、会場での食のふるまい、物産の販売など食の魅力を発信し、おもてなし研修を終えたスタッフが対応する事で人と人との交流による坂井市の良さを坂井市一体となって発信して行くよう準備を進めている。</p>					

平成29年度事業分 坂井市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び事務事業評価シート

<事業の名称等>

予算	款	10	教育費	項	06	保健体育費	目	03	体育施設費
大事業	01	体育施設管理事業			中事業	01	三国運動公園健康管理センター管理運営事業		
小事業							他 事業		

2.事業の目的・概要の続き

総合戦略 記載事項	
--------------	--

1.事業の位置付け

総合計画	基本構想	7	生涯を通じて学び・育つまちづくり	所管 部局	教育委員会事務局
	基本計画	7-5	生涯スポーツの振興		国体推進課
総合戦略	政策パッケージ				
	施策				
事業区分	自治事務（任意的なもの）		事業種別	施設管理事業	
根拠法令	無				
根拠例規	有		坂井市都市公園条例、三国運動公園健康管理センター規則		
関連計画・マニュアル	無				

3.事業のコスト

(単位：千円)

	平成29年度	平成28年度	平成27年度	29・28年度比	
コスト	事業費	20,519	12,847	22,256	7,672
	人件費	21,021	2,685	7,820	18,336
	総事業費	41,540	15,532	30,076	14,544
人員	正職員	3.00 人	0.40 人	1.10 人	2.60 人
	臨時職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	人員計	3.00 人	0.40 人	1.10 人	0.70 人
財源内訳	国県支出金	0	0	0	0
	その他特定財源	11,483	10,196	11,059	1,287
	一般財源	30,057	5,336	19,017	24,721

2.事業の目的・概要

【事業の目的】
 高齢福祉事業、子育て支援事業、保健センター事業を行う機能を有した三国運動公園健康管理センターの維持管理業務を他課と連携して行う。

【事業の概要】
 ◆三国健康管理センター管理運営事業

○需用費		15,060千円
消耗品費	117千円	
燃料費	709千円	
光熱水費	13,353千円	
修繕料	881千円	
○役務費		161千円
手数料	146千円	
火災保険料	15千円	
○委託料		3,936千円
エレベーター保守点検	518千円	
消防設備保守点検	108千円	
清掃委託	2,787千円	
電気工作物保守点検	166千円	
ボイラー保守点検	194千円	
その他	163千円	
○使用料及び賃借料（さかいCATV使用料・NHK受信料）		66千円
○備品購入費（会議用長机）		1,296千円

4. 事業の成果

評価指標		単位	年度	平成31年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
指標	利用人数	人	目標		30,000	25,000	0	10,000
			実績			33,507	0	8,691
			達成率(%)		0.0	0.0	134.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標			目標					
			実績					
			達成率(%)		0.0	0.0	0.0	0.0
指標の説明								
指標に基づく評価	平成29年4月から今までの高齢者福祉施設に加え、保健センター、子育て支援センターが設置されたため、これまでの3倍を超える利用者を獲得することが出来た。							

5.事業に対する評価

現状と課題	効率性に課題	有効性に課題	
	現在、国体推進課が施設の管理人として建物と付随する設備、共有部所の管理を行っている。国体後の管理体制について関係各課が協力しこれまで以上の施設有効利用を図れるかが課題となる。		
これまでの見直しや改善等の実績	関係各課による調整会議を設け、課題や意見交換を行い、効率の良く効果的な施設運営について協議し、譲り合う事で、新たな利用者が利用できるよう工夫した。		

6.今後の方向性

短期的な方向性		継続	中長期的な方向性		改善（見直し）
目標年度	平成30年度		目標年度	平成31年度	
方向性の説明	この施設が、三国運動公園の敷地内に設置されており体育施設と位置づけられている事から、現在の福祉事業中心の利用に、スポーツ関係者の利用拡大を図った施設運営ができるよう関係各課と調整してこれまで以上の有効利用を図る				

7.総合戦略記載事業の検証

総合戦略上の位置づけ	政策パッケージ			施策	
	基本施策				
実施事業名（小事業）					
事業で得られたノウハウや気づき等					